

## 高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	電力に関するインフラを見直して頂きたい。安定ありきのインフラは必要なし。電力は交流供給ですが、家電商品、OA機器のほとんど直流。ムダな交流 直流変換を行っている。今後は直流でできるインフラを。太陽光発電は直流。家庭内で使う電気は効率良く直流タイプにして、交流に変換しての売電は必要なくなるのではないのでしょうか？その電気をムダなく家庭内に供給できる商品（変換なしで）をメーカーは商品化して欲しい
2	現場の労働者、避難したくても残っている住民、国民を、住民を分断して大企業にばかり支援する。国民の生活を第一としなくてはならないのでは？
3	原発に代わる代替エネルギーが「ない」との考えからの発言ばかりだったと思います（最後に出たのでまだ良かったです）。今、非在来型の天然ガス・シュールガスを使った火力発電「ガス・コンバインドサイクル発電」が全国に163基も作られていることを全く知らせていない事が一番の問題だと思います。ゆっくりと時間をかけて再生可能エネルギーに向かうには、あまりにも悠長です。明日にも、今日にも巨大地震は起こるかもしれません。原発は、即時全廃、廃炉にして政府の責任において厳重に保管すべきです。
4	全体的な方向性としては、原子力全廃に向けて進んでいくべきだと考える。しかし、現実的な問題として、代替エネルギーの開発状況、原油資源を巡る競争、と考慮すると原発全廃に向けて2030年という年限を設けず政策を進めていくことが望ましいと考えます。
5	即時原発の廃炉を決定して下さい。廃炉計画を示し、原発による発電なしをスタートラインとし始めればよいだけのこと。安全であればそこから立ち上げられる。
6	15%シナリオを支持するが、3つの前提がある。1. お金がかかっても500年に1度の災害（大地震、大津波、ミサイルテロ）にも耐えうる安全な原子炉にすること。2. 自治体、電力管内に無関係に原発立地から20km以内は電気料金8割引き（住民も工場も）、50km以内は5割引き、80km以内は2割引きにすること。3. ソーラーを普及させるために農地にソーラーパネルを置けるようにする。その為には農地法の規制緩和とソーラー電気を農業生産物と認定して転作可能にすること。以上の3条件が満たされることが15%シナリオ受託の前提である。
7	シナリオにより意見表明者数に不公平があるのはおかしい。電力会社の関係者を意見表明者から除くのはおかしい。国民の一員であることには間違いはない。ヤラセではない。
8	政府は正確な情報を公開し、国民の信頼を築いて欲しい。
9	専門家でない一個人として、未来のエネルギー政策について判断することは難しいですが、一人の人間として提言させて頂きます。現在、原子力発電が発電事業全体の中に占める割合が29.2%、約3割であります。これを水力、火力、LNG、その他発電方法がある中で、何%にすべきか・・・、このような命題に答えるには、消費者である我々には圧倒的に情報が不足しております。しかし、良識の範囲で判断できることとして、以下に論を述べます。日本全体の消費電力の内、その8割は企業の使用分です。残り2割が家庭になります。企業の消費分の内訳としては、エアコンが45%、照明が22%、この2つで7割を占めます。8割の7割ということは56%です。ここでエアコンといい、照明といい、近年省エネ製品の開発が著しく伸長している分野です。エアコンでは10年前の製品と比べて消費電力は約半分に、照明ではLEDなど10分の1以上になっています。現状、企業の省エネ製品導入率は5%というデータがあります。企業が省エネ家電を導入して56%が半分になったらどうでしょう。28%の電力が削減できるのです。これは原子力発電全体の発電量に匹敵します。
10	福島原発の事故で多くの人々が苦しんでいることは理解するが、資源エネルギーに恵まれない我が国にとって原子力は必要。政府は世論に惑わされることなく、長期的な観点にたって冷静な判断を行うべき。再エネ拡大に異論はないが、原子力の穴埋めは不可能である。そのことを国民に正しく伝えるべき。このままではわが国経済は崩壊する。
11	2030年を待つことなく、原子力はゼロにすべきである。即時に再生可能エネルギーに代えることは無理だろうから、一旦火力発電へシフトさせ、一時的に火力を増大させてつなぎ、再生エネルギーの開発に全力を傾けるべきである。日本の総力を上げて再生可能エネを実用化すべきである。
12	世帯が減少する中、原発は必要か？

## 高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	現下の反原発の世論に乗じて自分達の勢力を増強しようとする一部の政治家、実業家、活動家の野望に感わされず、冷静な対応が必要。
14	現エネルギー基本計画以上に原子力を推進するべき。反原発派のプロと思われる人も意見を言わすべきではない。立地県でやるべき。地域外からの人間にしゃべらすのはおかしい。
15	日本のエネルギー事情、再生エネルギーの現実、日米原子力協定始め、国際状況、経済成長等を考えれば、福島原発の事故を徹底的に調査して原子力の安全性を向上させつつ、原子力を基幹電源として進めていくべき。現在の45%の原子力比率は問題があるかもしれないが、20~25%では低すぎる。国家のエネルギー戦略は、一時的な感情にとらわれず、大所高所から冷静に判断していくべき。
16	0シナリオの人々は思考停止に陥っており、感情的である。0とか15%シナリオはとても現実的とは思えない。電力供給が不安定極まりない。
17	原子力に関しては解決していない問題がたくさんあり、それを解決しないまま推進、再稼働をすべきではないと考えます。
18	原発事故は明らかに人災であった。原子力委員だった氏が何回も警告していたことである。原発は世界一厳しく安全なものにすること。資源は今後、いくらでも奪い合いとなり、競争を超えて戦争にさえる。抛って、広くエネルギー源を求めべきである。風力、波浪、太陽光併せても、若し、大風、大雨が1週間続いたらどうなるだろう。もっと現実的に達成できることを準備すべきだろう。0%にして、本当に何が数字を出して計算して示すべき。それをせずにこんな調査をいくらやっても遊びになってしまう。事故に対してもっと厳しい罪を適用すべきだ。
19	今の政府や、感情的な世論の中で、20年近くも先の未来を決めることは大きな疑問です。そもそも国民生活の基盤であるエネルギーは国が責任をもって決めるものであり、自ら決められないような政府なら不要です。個人的には20%くらいの原子力は必要だと思っていますが、このような議論に意味があるとは思えません。
20	原発の再稼働は必要と思いますが、今のままでは再稼働はしてほしくない。各電力会社が原発の安全性を高める競争をする対策を取ってほしい。規制庁では対策は出来ていない。今までと何ら変わっていない。私の案です。第一案、原発は国営企業とし、自衛隊員(予備役含む)、消防隊員により原発を運転する。第二案、現在の民間企業のままとするが、将来電力会社からトリコになる規制庁や安全委員会、原子力委員会は廃止し、原発1基ごとに安全度を多方面から多くの項目について点検し、これに点数をつける審査委員を30名程度選定し、採点した点数の高い所に利益を、点数の低い所に最悪廃炉、又は罰金を科した時、原発1基毎の安全度競争が始まると思います。このルールの良い所は、将来進化していくルールです。今までの保安院や安全委員会のように、時とともに退廃していく組織は2度も作らないでください。追伸、原発の安全度が上がれば国民は再稼働も指示してくれます。安全度を上げる対策を。
21	再生可能エネルギーを最大にすることを第一に考え、10年、20年、30年後、何%にすることができるのか、それをまず算出して、足りないエネルギーを次は火力でまなかう。それでも最終的に足りないエネルギーを原発で補う。原発は補助エネルギーとしての位置づけとするべき。その場合は最も重要と考えられる原発のみを期間限定で動かす。特に風力は有望であり、送電線など整備し、早く国が責任をもって整備すべき。国の動きが遅すぎる。私はゼロシナリオ(ただし、完全にゼロにできるまでは原発を補助エネルギーとして最低レベルだけは使用する、との注釈を付ける)。
22	成熟した意見をもっと期待した。政権批判はもう充分です。瓦礫の問題は今回関係ない。
23	もっと多くの意見を聞き、取り入れて欲しい。
24	再稼働をやめ、原発をやめ、国民に平和な環境と福島県民と原発労働者に終身の補償をする事。
25	原発に選択肢はない。即廃止以外にありえない。
26	日々の生活と経済は車の両輪のようなもので、両方が大事。そのためにも、25%以上の原子力発電は必要だと考える。25%以下では、貿易赤字、産業の空洞化が進み、豊かな日本社会、生活は守れないと考える。

## 高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
27	エネルギーの安定確保は国の経済、政治の安定にとって極めて重要な事項である。例えば太平洋戦争に突入せざるを得なくなった理由に石油の輸入が不十分だったことを考えても、容易に理解できる。また2回に渡る石油ショックを経験している。エネルギーの安定供給を考えると、再生エネルギーへの過度の依存は現実的ではない。太陽光、風力、水力などいくら頑張っても20%がせいぜい。また火力に依存することも危険である。エネルギーの多角化を図ることで生き延びる必要がある。やはり、原子力の比率は30~40%が日本の将来のために不可欠であると思う。ドイツ、イタリアは脱原子力であるが、欧州全体を見ると原子力比率は30%程度。石油、天然ガスなどを十分に持たない日本にとって、原子力は生き抜くための重要なエネルギー源である。今こそ感情的な意見に流されず、これからの日本の将来にとって何が大切であるかを認識すべきである。
28	いつまでに、どのようにして原発を減らそうというのか、具体的な説明がない。意見発表者数をもっと多くすべきである。一人あたりの発言時間を短くすればもっと発言できるのではないか。少数意見についても十分発言させるべきだ。選択肢の説明は簡潔でよく、時間を縮めて意見表明に回すべき。原発を可能な限り減らすことが共有化されつつあると言うが、どこからそう言えるのか。電話調査による即答的な世論調査の結果は、良く考えなければならない。脱原発ありきで議論を進めるのではなく、原発維持継続も含めて議論すべきである。対話型討論会を多くの場で行うべき。
29	直ちに0%とは極端だと思う。いずれは原発は無くす方が良いと思っているが、今すぐとは難しいと思う。戦後の生活に戻ることは全員には無理だと思うし、日本の経済のことも考えるとすぐに0%は現実的でない。聞く所によると新しい技術(クリーンも原子力も含め)も見つかっているらしいし、今ある資産を生かしつつ開発して、立て直すべきと思う。感情的になり判断を誤ってしまわないように願う。
30	私は3.11時、福島県いわき市にいました。今は会社の人事異動で四国に來ています。妻と娘はいわき市に残し、単身赴任しています。家族で引っ越すことも出来ましたが、放射能いじめが報道されていたことから、線量がそれほど高くないため単身赴任を選択しました。毎月1回、いわき市に戻っていますが、西日本と東日本、特に福島とは大きな温度差を感じます。地震は止められないが原発は止められます。原発は即時廃炉、エネルギー変更を求めます。
31	エネルギー選択の問題は全国民が義務と権利を有するものなので、全国民が参加するような住民投票、国民投票をする機会を作ってはどうか。
32	「エネルギーと環境」と言いながら、電源の問題のみに集中する理由が述べられていない。多分、原子力対策と現在の政府の超法規的原発政策を混同させることが目的か(原子力自体は一次エネルギーの一割程度しかない筈)。国民は現在のエネルギー、電力供給の不安定が、政府の法律に違反した原発の停止にある事は分かっている。長期的な電源構成の問題とは無関係。こうした意見聴取会にかかわらず、当面、法律に従って、電力会社に発電の権利を認めるべき。福島第1原発の事故の被害については、当時の民主党政権の不手際により拡大したが、国際的には大きな健康被害が無いことがコンセンサスになりつつある。被爆量の調査(空間線量ではなく)を進め、合理的な復帰を認めるべき。それを空間線量で年間1mSv以下といった不合理な目標を設定したのは、細野大臣の失策と考える。こうした適切な前提があれば、現行シナリオから大きな変更は必要なく、発電の原子力比率に限定すれば、30%を越える電源を維持し、経済力を維持することが合理的選択と考える。原子力に反対する意見を述べさせるのが本会の目的と思われるが、意図的な問題(将来のエネルギー政策と現在の電力供給、現在の経済政策)の混同が惹き起こされており、有効な政策ツールではない。以上。

## 高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
33	意見表明者「3つの選択肢以外希望者」が19名いたのに、各10名づつであった15%、20-25%と同じ2名しか選ばれなかったのは、おかしいのではないかと。原発存続拡大を主張した人の中に、南海トラフによる境界プレート型地震や直下型地震の危険性、原発の老朽化などの現実の問題を踏まえたものはなかったのではないかと。細野さん、個人的に福島県産の材料を食べるのは自由ですが、お子さんには食べさせない方がよいと思います。あなたの態度はやはりヒトゴトです。今回の「3つの選択肢」の立て方は、著しく原発推進側に偏っている。政府は脱原発を打ち出しているのに、ゼロシナリオ以外は原発を復活させるか拡大させるもので、脱原発になっていない。細野氏は15%シナリオが落としどころであるかのように述べているが、これは偏ったものをさらに偏って扱う発言。これに限らずこれまでの意見聴取会の運営には、電力会社が組織的に関与したり問題が多い。電力会社には「やらせ」を当然とした姿勢がみられ、電力会社、ひいては原発推進勢力には原発事故に対する根本的反省を欠くように思われる（やらせは事故前に行われていたのと同じ構図）。電力会社の傲った姿勢は、電力会社が地域の発電・送電を独占し、独占企業として強い経済力・政治力を保ってきたことに由来する。そして、その政治力をもって、原発推進勢力は自分達に都合のよいように運営できる制度を作り、恣意的に運営してきた。それは原発事故後も変わっておらず、最近では「規制庁」のトップ人事の5人中4人が原発推進側の人を選ばれるというあり方にみることができる。これは事故を起こした原発推進側の体質そのものであり、このままでは再び大事故が起こりかねない。事故前、原発は安全、コストが低く安価でクリーンなエネルギーと宣伝されてきた。これまでの意見聴取会で15%や20-25%シナリオを主張した人の中に、「あればウソでした。すみませんでした。」といった人はいるのか？ また、地震、津波の危険性や原発被災者の気持ちに触れた人もいるのか？ これまでの嘘に対する反省を欠いた原発の復活、拡大は全く説得力がない。自然エネルギー100%社会が2050年までに実現できるというシナリオがいくつも描かれている現在、原発を存続させる必然性は全くない。発送電を分離し、電力市場を完全に自由化し、消費者は原発以外の電力を選ぶようにすべきだ。原発は保険金を上乗せした電力料金を設定し、原発賛成者は事故が起きた際にも公的資金に頼らない電力料金で電気を買うべきだ。原発事故の補償は電力会社と保険会社が全額負担する。このような形で原発の在否は市場の自由な選択に委ねるべきである。
34	国内に在庫として残っているウラン等核燃料を、安全度の高い原発で使用して使い切るまでは、原発は使うべき。危険度の高い原発は、タービン送電設備を再利用して反応炉を化石燃料用に変換して使用するべし。エネルギー環境の話なのに、原子力発電の話ばかりで、もっとエネルギー全体をどうするかの話が聞きたかった。
35	発表者は感情的な意見が多く、参考にならなかった。主義主張が強すぎる。発表者は冷静な発言が出来る人を選んで欲しい。
36	25シナリオをお願いしたいと思います。経済の発展には安定した電力が必要であり、仮に戦争が起きた場合、輸入資源が入ってこない事も考えられる。
37	原発対策が出来ていないのに、「原発からグリーン」は？ グリーンをどう取り組むかが大事。企業の電気代は安く、一般は高いので、企業の自家発電量を増やす。
38	電力会社の参加はなくなったが、イデオロギー色の強い会で少しがっかりしました。国民感情は原発事故に対してよい感情を持つ者は少ないとは思いますが、もう少し感情論以外の、数字でもって話が出来る会で意見聴取を行い、国民議論を深めて、エネルギー環境の選択を行うようにして欲しい。気持ちだけでは、政策決定できないと思います。
39	将来的に考えれば、原発がない方がよいのは明らかである。しかしながら、現段階での原発0はありえないと思う。自然エネルギーの増加により、不安定な電力を買わざるをえない状況は、設備改善など電気料金値上げへ直結。104名。火力発電は増加できるが、天然ガスや石油系燃料の高騰している状況は、電気、ガス料金値上げへ直結。原油や天然ガスなどエネルギーを安く輸入出来るよう、国は同時進行で進めて欲しい。
40	原発は安全でないことは、残念ながら証明されてしまいました。原発は命もこわしますが、日本の経済、世界の経済もこわします。日本の発展を考えるなら、原発を即廃止して下さい。福島の人へ応援を送るとしたら「感情的になってもいいですよ、思い切りに感情的にならないと心が壊れますよ」。
41	15シナリオでの意見表明の申込みの際にも書かせていただきましたが、最終的に原発ゼロにするという点では、100%賛同致します。ただ、今すぐ全て止める、もしくは15年という長くは見て実はずそう長くない年月でもってゼロにするというのは、電気料金の急上昇や土地確保の点などで相当の「あおり」を国民が受けてしまうのではと思います。例えば今後、新しく建てられる建物には太陽光パネルを設置する事を義務付ける法律等、いろいろと手段はあるでしょうし、全ての家が太陽光パネルを持てばステキに決まっています。しかし、タダでそういう事が出来るワケがないので、「金持ちしか電気を使えない」みたいな国になるのではないかと、恐れます。今現在、も寿命を終えた火発をメンテナンスを先のばしにしてでも使って、ようやく電気の供給が保たれていると聞きます（この情報すらウソかもと言われる人もいそうですが）。本日参加された皆様、意見は違えど、原発をなくす事と、正しい情報を求めている事については皆同じだと思います。今後もこういった取り組みを大切にしつつ、政策を作っていくて頂きたいと切に願います。

## 高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
42	今後も意見聴取会や公聴会が開催されることを期待しています。ただ、論点が「原子力と自然エネルギーの対立」のようになっており、火力発電量、水力発電量、既存の原子力発電所の安全対策などの役割の議論が不足していると思いました。私は20代ですが、会場を見ると中高年の方が多く、若い方がさほど来場されていないようです。若い方、反対団体ではない「サイレントマジョリティ」の方が中心となるような会合も、必要だと思います。
43	原発依存度を高めに設定している人程、原発で発電した電気料金が安いと考えている事が分かった。これも今までの電力会社と政府の戦略が奏功している結果だと思う。
44	核燃料使用後は、人間が手におえない処理物。では、100年後にどうするのですか。これも後世に残すのでしょうか？ もっと良い物を後世の人が望んでいるではありませんか。本当にゼロに向っているのですか？ 何年後にゼロにするのか、政府が信用できない。信用できる政治をお願いします。意見を聞くだけでは何もならないと思います。むしろ、国民投票の方が良い。全家庭に太陽光発電の設置をすれば、随分違うと思います(補助はして下さい)。蓄電池の技術を高める様、補助して下さい。送電と発電の分離もして下さい。現在、原発にかけている補助を全て中止して、その分原発以外の新エネルギー(自然エネルギー)にかければ、十分間に合う。国民は少しぐらいならガマンできます。地産地消でのエネルギーも良い。地震国では原発は恐すぎる。現在ある原発の場所は、誰が見てもダメな場所。コストをかけているから原発でのエネルギーはもっと高いはず。今こそ転換すべき時とを感じる。国民の命を大切にして下さい。事故が起きてからでは遅すぎます。自分達の利益のみを考える原発賛成の人が、どんな人間が知りたい。
45	原発の危険性。日本は他国と比較できない程の地震国。過去の原子力行政がいかにもいい加減であったか、専門家も原発担当者も、電力会社も、国民の安全など考えても無く、金もうけ第一で進めてきた。政治家や官僚含めて、立身出世しか考えていなかった。福島事故究明、事故対策も出来ていない段階で、運転再開するなど無責任である。まずは究明と対策を優先すべきである。今回の資料にも安全対策がない。益々不安となる。原発関係の事故は過去にも素直に公開された事がなく、隠そう隠そうとして来た。規則を作っても守って来なかった。
46	政府として抜本的には原発は中止方向に持っていくべきではあるが、例えば50年計画などを立案し、国民に真の意見を問うべきだと思う。意見表明者の能力(発表力)をもう少し調査して欲しい。5番目の表明程度の人にして欲しい。
47	未来に負の遺産を残すなどという意見があるが、経済成長しない選択が本当に子供、孫の世代にとってよいことなのか疑問。日本がこれからも繁栄を続けるためには、安定したエネルギーが必要。再エネが本当に主要なエネルギー源となるためには、まだまだ時間がかかるのではないかと。エネルギーはバランスが大切ではないかと思えます。脱原子力で一気に進むと、化石燃料、特に石油ガスが輸入できなくなったら、どうするのか？ オイルショックで脱石油に振れた反省がないように感じます。個人的な生活だけを考えて「原子力の元気がなくても大丈夫」と言うことは簡単ですが、それで社会生活が成り立つのか。企業がなくなって日本が成り立つのか。失業者が大幅に増加するのではないかと。もっと現実的な議論をすべきだと思います。追加。3つのシナリオがあるのに、0%の人の意見だけが、多く聞かされてるのは、公平でないのではないかと？
48	原発は日本を滅ぼす。人のDNAを破壊し、国土を居住不能にするような原発はいらない。原発は単なるお湯わかし。電力不足は国民をだますうそであり、天然ガスコンバインドサイクル発電が稼働しているのに、電力不足などあり得ない。はやく全原発を廃炉にし、厳重保管する事が国の責任だと思います。私は信心している者ですが、今、先生があらわされた原発全廃特集号、廃絶特集号の新聞を154万の会員が全国で配布しています。国会議員の方にも送付されていると思いますので、是非読んで頂きたいです。放射能汚染は五感に感じないから、食物の味がかわらないのは当然。
49	ヤジを禁止するのは当然だが、質疑応答の時間くらいはとるべきだと思う。こういう聴取会自体は大いにやって欲しい。実際に政府がこれらの意見をしっかりと参考にするのかは不安だが。あとは、聴取会の内容についてはではないが、応募のページまでいくのが(インターネットで)少し面倒というか、簡単ではないように思った。もっと多くの方が簡単に参加しよとできたり、聴取会の内容を知れるようにしたらどうだろうか。あと、ただ単に主張の内容を聞くのではなく、発言者の怒りなどについても、考えてもらいたいと思う。
50	電力を使い過ぎではないか(なぜならば、人体に悪影響している方もおられ、生きづらい、生活しづらいから)。自然界の営みを感じ取れるようなエネルギー転換を望むが、より良い方策を。弱いところをつくり、人を追い詰めないようにお願いしたい(新しい働きかけも必要だと思う)。原発にお世話になってきたことを、あまり知らなかった。「節電」、「省エネ」をどうしたらよいか、教えてください。お疲れになりませんようにと見ております。ありがとうございます。

## 高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
51	再生可能エネルギーの導入の実現があいまいなままで、いわばビジョンに過ぎない選択肢をもとに議論を行うことは、政府として極めて無責任。安保と同じで、いくら示威的な反対運動があろうと、政府は確たる信念を持って、進むべき方向を政府自らの責任の下で判断すべき。是非、今一度冷静になって、間違わないエネルギー選択を行って頂きたい。その解は、確たる代替エネルギーが見つかるまでの間、原子力を基幹エネルギーとして活用することに他ならない。国民レベルで、その解の納得性を得るための大前提としては、「放射線の健康影響」についての正確な情報を国民に提示することが肝要。100msv以下の健康影響は証明されていないとする多数の識者・医学界の見解をマスコミ等を通じて示すべき。今日のような「自虐的」な一部の政党、一部の国民感情の流れは、わが国の崩壊の途をたどる他ないことを、肝に銘じるべき。
52	25%以上の原子力比率が必要。経済成長の根幹。再生可能エネルギーの不安定さ。この電源では産業は成り立たない。政府に対する国民の不信。これが混乱の第一の原因。国会議会に対する不信が根底にある。
53	エネルギー問題で選挙が必要で、聴取会では不十分です。
54	原発事故の状況を見ると、原発は0(ゼロ)を望みます。現在の政府は、原発に対する将来的展望がはっきりしていないと思う。原発を0にするためのシナリオをはっきり国民に示し、再生エネルギーの開発を1日も早く予算を付けて進めて欲しい。国会事故調の結論が出た今、国会において今回の福島原発事故の責任と原因を明確にして、責任を取らせなければならない人を明確にする必要があると思う。そうしなければ、今後も無責任体質は無くならない。
55	まず、使用済み核燃料のことを考えると、0が一番望ましい。政府の姿勢としては0を目指していくべきである。太陽光、風力、地熱、日本海のメタンハイドレードの発掘調査(特にやって欲しい)、水力、火力など不断の努力を行うべきである。また、自家発電装置を電力が必要な場所に配布する。電力の使用量の少ない時間に蓄電して、需要量の多い時にそれを使用できるように。放射能の基準をはっきりと。電力が足りないというのが、本当かわからない。この期に及んで海外に原発を作るのは、明らかに利権。ついでになるが、今週の週刊文春の の記事で、官邸は外からの音や声が聞こえにくいという事を書いていた。「音」と言ってしまった理由を、はっきり言えばいいと思う。
56	無責任な一部のマスコミや、情緒的又は過激な市民団体の行動に惑わされず、政府には国の将来を見据えた正しい政策を期待します。頑張ってください。私は、消費税増税と大飯原発の再稼働を行った野田政権を支援します。頑張ってください。
57	原発反対派(ゼロシナリオ)の方は、感情的になりすぎているように思いました。国民投票法が制定されているのですから、「メリット」及び「デメリット」をさらに明確にした上で、国民投票を行うのが良いと思います(原子力発電の割合は、45%を望ましいと私は考えます)。化石燃料にかかるコスト及び、再生可能エネルギーはコストが高すぎる。ゼロシナリオの方は、感情論だけで中身がスカスカです。
58	0%にできればベスト。それに向うためには具体的に一人一人が何をどうするかを考え、実行しなければ。政府が、電力会社が、ではなく「私」が、です。対立ではなく「対話」の方向を明確に示そう、国民全体が。ヒステリー被害者意識、ルサンチマン、恐いです。協力や共存の障害そのもの。
59	人類は火を使うことから始まり、文明を進化させてきた。現在の文化を築き上げてきた反面、戦争も絶えない。原子力も地球上にある大きな資源です。道具は危険を伴うもの。いかに安全に使うか、有効な活用を考えるべきです。原子力を負の遺産というが、CO2、フロンガスは負の遺産ではないのか。
60	0%の人はあまりにイデオロギーに偏している。科学的データを元にした議論がされず、国や推進派のデータは隠しているとか、自分が嫌いだからとか、感情的な議論が多いと感じた。見苦しい。不規則発言者は厳しく規制すべき。
61	0~15%、0%が望ましいが、現実問題として0%は難しい。シュールガス、サンドオイル、メタンハイドライドなど新しいエネルギーも期待できる。再生可能エネルギーが20年でどこまでまかなえるか、太陽エネルギーよりも地熱エネルギーの活用をもっと進めるべき。使用済み核燃料の処理をどうするか、廃炉処理などの問題は山積み。そもそも原発はそういった技術的問題を解決しないまま、見切り発車したところに問題がある。
62	原発に関するチェック機能体制が先では?(使用出来るチェック機能)。もう少し時間をかけて「選択肢」を考えるべき。福島原発の処理が先。